

## 令和8年度入学式 式辞（令和8年4月7日）

新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。

福岡教育大学の教職員を代表し、皆さんを心より歓迎いたします。数ある大学の中から本学を選び、教師への道をこころざされたことを、大変うれしく思います。

また、福岡教育大学同窓会会長におかれましては、ご多用のところご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。さらに、これまで新入生の皆さんを温かく見守り、支えてこられたご家族の皆様に対し、心よりお祝い申し上げます。

さて、皆さんが本学での学びを始めるにあたり、本学の歴史について簡単にご紹介いたします。本学の起源は、明治6年に設置された学科取調所、後の福岡師範学校に遡ります。戦後、教員養成を新制大学で行うという方針のもと、昭和24年に県内の師範学校等を統合し、「福岡学芸大学学芸学部」として発足しました。その後、大学名を福岡教育大学へ、学部名を教育学部へと改称し、昭和42年には県内に分散していたキャンパスをここに統合移転いたしました。このキャンパスは、この赤間の地が故郷である、出光興産創業者である出光佐三氏のご厚意により提供されたものであります。

さらに、より高度な専門性を備えた教員養成を目指し、昭和58年に大学院教育学研究科を設置し、平成21年には教職実践専攻を開設しました。加えて昨年度には、北海道教育大学、大阪教育大学との連携により、共同学校教育学専攻博士後期課程を設置するに至りました。

このような歴史と伝統のもと、本学は我が国の教育を支える多くの優れた人材を輩出してきました。九州・沖縄地域における教員養成の拠点大学として、本学は生涯にわたり学び続ける有為な教育者を養成することを理念に掲げています。本学で学ぶということは、同級生や先輩・後輩、教職員との関わりにとどまらず、福岡県をはじめ九州・沖縄から全国へと広がる教員育成のネットワークの一員となることを意味します。卒業後も、教師として学び続けながら、先輩方の歩みに学び、自らを高めていくことが期待されます。同窓会である城山会も、その大切な基盤となっています。

では、皆さんは本学におけるこれからの学びをどのようにイメージされているでしょうか。この後の対面式や明日のオリエンテーションなどを経てはつきりとしていくと思いますが、中央教育審議会など今後の教育の在り方をめぐる議論の中で、教師は「学びをデザインする高度専門職」と位置づけられています。これからの教師は、単に知識を伝達する存在ではなく、子どもの学びを支援し、導く存在であると言えるでしょう。

そのために、本学においても、学修者本位の教育の実現をめざし、複数の教員免許取得を可能としつつ、学校現場で実践できる力を養う副専攻プログラムなど学修内容を充実させています。ここで重要なことは、受け身の姿勢では真の力は身につかないということです。ご自身の目指す教員像に応じて自らの学びをデザインしながら、主体的そして自立的に学んでください。

また、教師になるための学びの場はキャンパス内にとどまりません。附属学校などでの教育実習はもとよりサービ斯拉ーニングという、大学の外で課題解決に向かい教師に求められる様々な力をつけてもらう科目もあります。さらに、本学では、全ての学生がボランティア活動に参加できるよう、支援しています。とりわけ学校におけるボランティア活動は教師力の向上に大きく役立っています。これらの経験を通して、将来の教職に求められる資質・能力を着実に培っていただきたいと思います。

教職は、子どもたちの人格形成に大きな影響を与える、極めて重要な仕事です。教師の言葉や行動が、子どもの人生に深い影響を及ぼすことも少なくありません。皆さんの中にも、これまで出会った先生の姿に導かれ、本学を志した方が多くいることでしょう。その自覚と責任を胸に刻み、学びに向き合ってください。

とりわけ、いじめや差別などの人権侵害が社会的課題となっている今日において、人権尊重の理念に基づく学校教育を担う教師となるために、人権教育について深く学び、実践できる力を身につけることを強く期待しています。

また、本学キャンパス内には、本年度より福岡県立むなかた特別支援学校が開校しました。本学としても連携を深め、インクルーシブ教育の推進に取り組んでまいります。特別支援教育教員養成課程以外のひとたちも、学校現場において多様な支援を必要とする子どもたちへの理解を深めてほしいと願っています。

今、私は、皆さんの4年後の姿を思い描いています。学校現場に立つにふさわしい力と人間性を備えた姿へと成長していることでしょう。私たち教職員は、皆さんの学びを支える伴走者として、常に寄り添い続けます。

本学での学びが皆さんの夢の実現につながり、「福岡教育大学で学んでよかった」と心から思える日が来ることを祈念し、式辞といたします。

令和8年4月7日

福岡教育大学長

石丸 哲史